

## 産衛だより

### 平成 18 年度第 3 回理事会議事録

日 時：平成 18 年 12 月 9 日（土）13：00～17：00

場 所：東京八重洲ホール 301 号室

出席者：清水英佑（理事長）、相澤好治（副理事長）、井谷 徹、上田 厚、圓藤吟史、大久保靖司、大前和幸、加地正伸、川上憲人、清田典宏、日下幸則、車谷典男、甲田茂樹、河野啓子、齊藤政彦、佐藤 洋、實成文彦、杉本寛治、田中勇武、角田 透、能川浩二、浜口伝博、広瀬俊雄、藤田雄三、芳原達也（以上理事）、大本美彌子、徳永力雄（監事）

欠席者：岡田 章、岸 玲子、小林章雄、高橋英尚、東 敏昭（以上理事）

理事 25 名（委任状あり：岸 玲子、東 敏昭、委任状なし：岡田 章、小林章雄、高橋英尚）が出席し、定款第 25 条により理事会が成立していることを確認した。

清水理事長の挨拶の後、佐藤洋総務担当理事の進行役で会議が進められた。

議事録署名人に齊藤政彦、實成文彦の両理事を決めた。

#### [審議事項]

1. 前回平成 18 年度第 2 回議事録は了承された。
2. 表彰制度受賞者の推薦について：奨励賞選考は能川委員長より 6 名の推薦があり細則に則り検討した結果、宮本俊明氏と金良昊氏の 2 名が推薦され了承された。学会賞選考は芳原委員長より 2 名の推薦があり細則に則り検討した結果、川本俊弘氏が推薦され了承された。功労賞選考は井谷委員長より 4 名の推薦があり細則に則り検討した結果、今村幸子・氏家睦夫・角田文男・堀口俊一の各氏が推薦され了承された。名誉会員選考は岡田委員長欠席のため提出資料により 3 名の推薦があり細則に則り検討した結果、高田 昂・岩田弘敏・野崎貞彦の各氏が推薦され了承され総会に提案することとした。功労賞と名誉会員の定義について今後検討することとなった。
3. 平成 19 年度事業計画について：大前理事より案が出されホームページ管理・改良を行うことの追加があり了承された。また、名簿発行は次回理事会で再度検討することとした。産業医・産業看護全国協議会の名称について今後時間をかけて検討してもらうことになった。産業保健指導医講習会は評価した上で今後実施するかどうかを決めることとした。
4. 平成 19 年度予算案について：圓藤理事より前年度をもとに算出し、4 部会になったので分配の変更と、全国協議会へは本部から直接助成することに変更した。データベース開発を 400 万、理事会 300 万等一部変更と追加があったが了承された。

また、地方会・部会・委員会・研究会等も本部会計と総括する関係で同じ様式で提出することとなった。

5. 石綿問題検討委員会について：相澤副理事長より次期学会で石綿関連疾患に関する講座を企画し、他の活動内容については次回委員会で策定し、次回理事会に報告する。
6. 次回理事会開催日について：大前総務担当理事より 3 月 17 日に新理事と合同で東京八重洲ホールで開催することとした。
7. 第 82 回日本産業衛生学会の開催地について：九州地方会で開催することが承認された。
8. 第 18 回産業医・産業看護全国協議会開催地について：四国地方会で担当することになった。
9. その他
  - ①研究会報告書式について：日下理事より研究会活性化の観点から研究会の見直しとしてアンケート調査の提案があり結果を理事会に報告することで了承された。
  - ②名簿使用に関する対応の原則について：大前総務担当理事より案が出され、原則として 3 年以上の学会員のみにしていくこと、使用方法と破棄方法についても報告書を出してもらうことで了承された。

#### [報告事項]

1. 第 16 回産業医・産業看護全国協議会会計報告について：「次回理事会で日下理事より報告する予定となった」
2. 第 80 回日本産業衛生学会について：圓藤理事より一般演題締切りは 12 月 19 日正午厳守との報告があった。
3. 電子投票について：浜口理事より 8、9 月にシュミレーションが済み電子と用紙で行った結果投票率は 54.2%であった。質問等は 2 件であったが特に問題はなかったとの報告があった。
4. 産業看護部会報告について：河野理事より産業看護師数は 1,185 人になったこと、また、「職場のメンタルヘルス対策における産業看護職の役割」に関する問合せ等反響があったことの報告があった。
5. 産業歯科保健部会報告について：藤田理事より会員が 171 人であるとの報告があった。
6. 専門医制度委員会報告について：杉本理事より来週の委員会で今後の方向性について論議する予定であるとの報告があった。
7. 会員の状況について：大前総務担当理事より正会員 7,343 人（11 月 30 日現在）の報告があった。
8. 協賛・後援等について：大前総務担当理事より「日本学術会議第 2 部健康・生活科学委員会・共催」<日本空気清浄協会・協賛>をしたとの報告があった。
9. その他
  - ①厚生労働省検査について：大前総務担当理事より 11 月 30 日（10 時～16 時）に行い積立金処理の取扱い、地方会との関連についての指導があったとの報告があった。
  - ②スウェーデン国立職業生活研究所の閉鎖について：川上理事より理事長名で抗議の手紙を提出したとの報告があった。
  - ③職場のメンタルヘルスについて：川上理事より 14 の学会で発足したとの報告があった。

## 平成 18 年度第 4 回産業医部会幹事会議事録

日 時：平成 19 年 1 月 12 日（金） 13：30～15：30

場 所：丸紅東京本社 16 階 A 会議室

出席者：岡田 章, 齊藤政彦, 佐藤修二, 佐藤広和, 高木 勝,  
田畑正司, 寺澤哲郎, 中屋重直, 昇淳一郎, 浜口伝博,  
広瀬俊雄, 福本正勝, 藤代一也, 松原 統, 三好裕司,  
山田誠二

以上 16 名

欠席者：井上正岩, 岩田全充, 氏家睦夫, 宇土 博

以上 4 名

(五十音順：敬称略)

### 議題：

#### 審議事項

1. 専門医制度について
2. 広瀬幹事より当日の配布資料をもとに専門医制度委員会の報告があった。当面、本学会は国の専門医標榜の流れは診療報酬等との関係が極めて密接であり外形基準に沿うようにした機構改革は当面想定（提案）せず、学会内の協議（理事会、産業医部会、専門医制度委員会等）を密に行い、社会的認知を増すような活動等、足元を固める作業を進めるとの事になった。
3. 平成 18 年度事業報告・会計報告・平成 19 年度事業計画  
岡田部会長より、資料に基づき報告があり、了承された。  
学会本部から全国協議会開催担当企画運営委員会へ 200 万円助成することが決定されたこと、それに伴い来年度より部会からの全国協議会への助成金支出はなくなると共に、本部より部会への助成金は 80 万円に減額されることが報告された。
4. 学術集会（平成 20 年 北海道）  
佐藤幹事より進捗状況の報告があった
5. 産業医プロフェッショナルコースについて  
浜口幹事より第 10 回プロフェッショナルコースの進捗状況が報告された。  
19 名参加の宿泊型で初めて行う予定であるとの報告があった。また、資料をもとに今後の運営方針が検討された。開催は年 1 回とし、専門医制度委員会との連携を強化する目的で運営委員の検討を進めることなどが承認された。
6. 産業医・産業看護・産業衛生技術部会合同セミナーについて  
広瀬幹事より、4 部会のコラボレーション委員会を 4 月に開催し（その後の調整で 24 日 7 時～8 時）、11 月の全国協議会での合同セミナー・リレーワークショップ開催に向け準備する旨の報告がされた。
7. 次回幹事会日程について  
次回の幹事会は専門医制度説明会と重なっているので調整することとした。
8. その他
  - 1) 特定健診、特定保健指導について  
齊藤、田畑両幹事作成の資料をもとに議論された。  
当制度についての問題点が多くあげられ、ひきつづき両

幹事が担当して、特に産業医との関わりについて取りまとめ、継続審議していくこととした。

2) 医部会事務局体制について

移転を含めた今後の方針が討論された。

### 報告事項

1. 第 80 回学術集会（大阪）について  
岡田部会長より全体の進捗状況について説明があった。  
なお、産業医フォーラムについては三好幹事より説明があった。
2. 第 16 回産業医・産業看護全国協議会（新潟）について  
松原幹事から報告があった。
3. 第 17 回産業医・産業看護全国協議会（東京）について  
三好担当幹事より進捗状況について説明があった。
4. 四国地方会産業医部会結成および第 18 回産業医・産業看護全国協議会（愛媛）について  
昇幹事より四国部会組織化完了および全国協議会受け入れ準備状況について報告があった。
5. その他  
本部会規程による幹事改選について、岡田部会長より日程および手順の説明があった。

## 平成 18 年度第 1 回産業看護部会幹事会議事録

日 時：平成 18 年 5 月 9 日（火） 11：00～15：00

会 場：仙台国際センター H 会場小会議室 6

出席者：川上憲人理事, 河野啓子部会長, 和田晴美副部会長,  
西田和子副部会長, (教育担当幹事) 鈴木純子, 高崎  
正子, 畑中純子, 福光ミチ子, 藤井智恵子, (研究担  
当幹事) 錦戸典子, 亀田真紀, 黒田真理子, (広報担  
当幹事) 伊藤雅代, 小野田富貴子, 鮫島真理子, 日笠  
理恵, 吉田順子, (地方会担当幹事) 只埜則子, (総務  
担当幹事) 五十嵐千代, 大神あゆみ, 吉武八重子,  
(オブザーバー) 中野愛子 計 22 名

欠席者：(教育担当幹事) 中島美絵子, 近藤亨子, 細本清子,  
(研究担当幹事) 杉本日出子, (地方会担当幹事) 田中  
恵子, 村井初美, (総務担当幹事) 杉田 伸, 西 雅  
子, 上田進子 計 9 名

### 【審議事項】

1. 産業看護部会における個人情報保護のあり方について（河野部会長）  
日本産業衛生学会の HP でアナウンスしている個人情報保護の方針を踏まえたものを、年に 1 度産業看護部会 HP・産業看護フォーラムで周知することが了承された。
2. 産業看護職継続教育実力アップコース教科目のねらい（産業看護論、対象の理解）(案) について（和田副部会長）  
産業看護職継続教育実力アップコース教科目について、単位申請する場合や研修を企画するにあたり、「ねらい」と「内容」についてのマニュアルが必要であることから、教育担当幹事で、検討することとなった。

## 3. 産業看護師 PR 紙の活用について (伊藤広報担当幹事)

伊藤広報担当幹事より産業看護師 PR 紙が配布され説明があった。現在 1 万部印刷済みで、配布先としては、労働局や産業保健推進センター、健診機関の団体である全衛連や労働基準監督署、経団連や健保連への配布が提案され、了承された。

また、翌日の合同幹事会で産業医部会にも紹介することとした。

## 4. 産業看護部会研究について (錦戸研究担当幹事)

「産業看護職が研究実践できるサポートシステムの検討(仮)」の進捗状況報告の後、アンケートについての意見交換がなされ、検討されることとなった。

## 【報告事項】

## 1. 部会長報告 (河野部会長)

メンタルヘルス対策における産業看護職の役割マニュアル作成の WG は、畑中幹事を事務局としてスタートしたが、産業看護部会の WG ではなく、産業衛生学会理事会からの選出の WG という位置付けになった。

現在骨子が出来、第 1～第 3 章と章立てした。第 1 章は、産業看護の専門性について、第 2 章は、指針をもとに産業看護職がどのように活動できるか、第 3 章は、各関連団体・職種の方からの産業看護職への期待という構成である。

6 月を目処にマニュアルを作成し、厚生労働省に提出する予定である。それ以外にも様々な方面に働きかけ、展開していく方向である。

## 2. 産業看護職法制度化 WG について (西田副部会長)

労働安全衛生関連法制度委員会の委嘱を受け、4 月 21 日に第 2 回の WG を実施。WG メンバーは、西田副部会長・小野田広報担当幹事・伊藤広報担当幹事・五十嵐総務担当幹事で、産業看護部会外から小木和孝氏、井谷徹氏、土肥誠太郎氏で構成されている。

日本の法律に盛り込まれている産業看護職の文書一覧を作成しながら、諸外国の状況の整理も行っている。まずは、法制化されているフランスをはじめ、主要国フィンランド・韓国・英国・米国・オーストラリア(ビクトリア州)などの情報を収集、整理を行いながら、グローバルスタンダードを確認している。

## 3. 産業看護部会 HP について (伊藤広報担当幹事)

現在、リニューアル中で、終了次第お知らせするので、意見をいただきたい。

理子(東北地方会兼)、(広報担当幹事)伊藤雅代、小野田富貴子(関東地方会兼)、(地方会担当幹事)田中恵子(北陸甲信越地方会兼)、村井初美(北海道地方会兼)、(総務担当幹事)五十嵐千代、中野愛子、吉武八重子(会計)、西 雅子(名簿管理) 以上 16 名

欠席者:(総務担当幹事)大神あゆみ

以上 1 名

## 【審議事項】

## 1. 部会規程の改正について (河野部会長)

産業看護部会規程について、日本産業衛生学会定款と合わせて、幹事の任期を 3 年から 2 年にする事、会計年度は 4 月 1 日から翌年 3 月 31 日であったものを 3 月 1 日から翌年 2 月末までに改正することが提案され、産業医部会と産業衛生技術部会と歩調をあわせてやっていくということで、承認された。

## 2. 産業看護部会名簿管理業務等について (五十嵐総務担当幹事、西総務担当幹事)

産業看護部会の会員は 1,000 名を超え、ここ 4 年で会員数が倍増している。名簿管理は西総務担当幹事が 1 人であり、併せて新規会員に案内、部会費納入の有無も担当しており、すでに業務的に限界が来ていることの説明があり、当面、西総務担当幹事にはデータベース管理をしてもいい、新規会員に案内、部会費納入の有無の業務を地方会担当幹事が担うことが承認された。今後、データ管理の問題は、産業医部会とも意見交換をすることとした。

## 3. 産業看護部会名簿利用について (河野部会長)

昨年 12 月、個人情報保護について指針が出たが、それを受けて産業衛生学会では、個人情報利用申請書がつけられた。3 部会、委員会を含めて、全ての情報は産業衛生学会理事長が許可するというようにシステムが変更になった。産業看護部会で使用する時も、すべて理事長の許可が必要になる。これにともない、既存の産業看護部会の名簿使用に関するマニュアルとの関連は、今後運用の中で検討していくことが承認された。

## 4. メンタルヘルス対策事例集について (河野部会長)

WG の尽力により、7/19 メンタルヘルスマニュアル完成、7/24 厚生労働省阿部労働衛生課長に提出できた。阿部課長より、内容的に非常に充実しているので、総論に事例をつけて産業看護部会から本を発行したらどうかの提案があったことの報告があった。

まず第一段階として、メンタルヘルスに関する事例集からとりかかることになり、引き続き WG のメンバーが担当することが合意された。

## 5. 産業看護職継続教育実力アップコースについて (中島教育担当幹事)

今回の実力アップコースでは、グループワークを中心に東海大学の式守晴子先生を講師として実施することで承認された。

## 6. 大学院修士課程修了者の基礎講座受講時の特典等について (中島教育担当幹事)

基礎コース免除は東海大学修士課程修了者のみとなって

## 平成 18 年度第 2 回産業看護部会幹事会議事録

日 時:平成 18 年 8 月 5 日(土) 11:00~17:00

場 所:富士電機リテイルシステムズ本社 706 会議室

出席者:(部会長)河野啓子、(副部会長)和田晴美(東海地方会兼)、西田和子、(教育担当幹事)中島美絵子(近畿地方会兼)、近藤亨子(四国地方会兼)、福光ミチ子(九州地方会兼)、(研究担当幹事)錦戸典子、黒田真

いるが、他の修士課程修了者に関しては論文を作成しているので、その配慮は無いのかという意見が教育担当内から出た。実務経験があって、他の大学院で産業関連の修士論文を完成していれば、論文提出は免除しても良いのではとの意見があり、今後のニーズ次第で検討することとなった。

基礎コースの受講資格について大学教員で実務経験がないものに関して、学生の指導のために必要である場合は、受講は可能であるが、例えば論文の提出はされていても、2年以上の実務経験がなければ、産業看護師の登録はできないことが合意された。

#### 7. 日本看護協会との意見交換について（五十嵐総務担当幹事）

日本看護協会とは認定看護師と産業看護職継続教育システムとの関係について意見交換してきたが、ここ2年間実施されていない。産業看護職の法制化についての話もあることから、後押ししてもらうためにも、意見交換を再開したいと考えていることが示され、合意された。

意見交換のスタイルとしては、3役と総務担当が中心になって行うことが承認された。

#### 【報告事項】

##### 1. 産業看護部会研究について（錦戸研究担当幹事）

ICOHで前年に行った調査研究の成果発表をした。聴講者からの反応は良かった。日本での産業看護活動へのエールを得た。

##### 2. 産業看護部会 HP について（伊藤広報担当幹事）

研修部分については、全面リニューアルしたものを公開している。8月中には一般公開できる見通しである。産業看護職の皆さんに部会を知ってもらうためのツールにした意図が示された。

##### 3. 産業看護職法制化検討 WG 報告（西田副部長）

第3回産業看護職法制化検討WGを7/22に行った。

①諸外国（フランス、アメリカ、オーストラリア）の情報を収集し、状況報告

②年代順に看護職が入った通達の整理

③産業看護職の職務についての検討の実施

産業医、産業看護職の職務の専門性、独自性についての比較検討をしていかなければならない。今後、法制化することによって看護職としてなにかができるか、産業医との住み分けをどのようにしていくかが課題である。韓国の産業保健活動のレベルが高いので、活動内容を調べることにする。

### 平成 18 年度第 3 回産業看護部会 拡大幹事会議事録

日 時：平成 18 年 9 月 22 日（金）13：00～17：00

場 所：ウェルシティ新潟

出席者：川上憲人理事、河野啓子部会長、和田晴美副部長、西田和子副部長、（教育担当幹事）福光ミチ子、鈴木純子、藤井智恵子、細本清子、高崎正子、（研究担当幹事）黒田真理子、亀田真紀、杉本日出子、（広報

担当幹事）伊藤雅代、吉田順子、（地方会担当幹事）只整則恵、村井初美、（総務担当幹事）五十嵐千代、西 雅子、大神あゆみ、中野愛子、（オブザーバー）大脇多美代 以上 21 名

欠席者：（教育担当幹事）中島美絵子、畑中純子、近藤亨子、（研究担当幹事）錦戸典子、（広報担当幹事）小野田富貴子、鮫島真理子、日笠理恵、（地方会担当幹事）田中恵子、（総務担当幹事（会計）吉武八重子、上田進子、杉田 伸 以上 11 名

#### 【審議事項】

##### 1. 実力アップコースの論文の審査基準について（河野部会長）

実力アップコースの論文が1題出てきたが、レベル的には基礎コースレベルを脱していなかった。以前の討議から「実力アップコースのレベルは学会誌掲載程度のもの」という案があったが周知されていなかった懸念があると、問題提起された。

一度、研究担当と部会長で論文の審査基準を検討し、素案を作成の上、次回幹事会で提案されることになった。日本看護協会の認定看護師・専門看護師の制度との整合性も加味して慎重に検討していくべきだろうとの発言があった。

##### 2. 平成 19 年度基礎コース実施について（和田副部長）

基礎コースは、キャンセル待ちや問い合わせの多い状況であり、今年度の実施状況から来年度も実施が望ましいということになった。2月発行の日本産業衛生学会誌に早めに掲載してもらい、その後に産業看護部会 HP に実施概要を掲載することが合意された。

前期 2007 年 7 月 26～28 日・後期 2008 年 2 月 14～16 日開催で 90 名定員、東京・労務会館での実施予定ということで承認された。

##### 3. 実力アップコース単位更新手続きの連絡方法について（和田副部長）

産業看護師の更新手続きを期間内に対応しなかった人への追加料金 5,000 円という点と、その猶予期間を「半年」と定めて更新しない人を確認する仕組みを明確にすることで対応することが合意された。期限後 6 ヶ月以内なら追加料金は徴収しないこととする。更新の手続きについては産業看護部会 HP に最近掲載済みである。

（株）ヒューマン・リサーチ事務局と連絡をとり、教育担当幹事で整理し逐次幹事会にて協議することになった。単位更新に関しては問い合わせが多いため、できるだけ産業看護部会 HP の Q&A に反映させる方向とすることが合意された。

和田副部長より、実力アップコースの集中講座（グループワーク）を同一テーマで 4～5 回開催する意義の説明があり、来年度も実施することが承認された。

##### 4. 産業看護部会主催国際学術集会について

産業看護部会主催の初の国際学術集会は、平成 19 年度開催を目指し、第 1 回はアジア地域を対象にしたもので開催することが承認された。また、アジア地区の産業看護国

際会議は、第2回が2007年8月にタイで開催されることも河野部会長より伝えられ、2010年の日本開催については産業看護部会が中心になって開催することが合意された。平成19年度の産業看護部会主催の国際学術集会は、その前段として位置づけられることが承認された。

### 【報告事項】

1. 実力アップコース集中講座申し込み状況 (和田副部会長)  
平成18年12月の集中講座は既に75名受付済み、申し込み開始後まもなく定員に達したとの報告がなされた。

## 第1回石綿問題検討委員会議事録

日 時：2006年9月9日(土) 14時～17時

場 所：八重洲倶楽部第10会議室

出席者 (アイウエオ順, 以下敬称略)：相澤好治 (北里大学), 日下幸則 (福井大学), 車谷典男 (奈良県立医科大学), 甲田茂樹 (独立行政法人労働安全衛生総合研究所), 神山宣彦 (東洋大学), 東 敏昭 (産業医科大学), 久永直見 (愛知教育大学), 広瀬俊雄 (仙台錦町診療所・産業医学センター), 矢野栄二 (帝京大学)

欠席者 (同)：大前和幸 (慶應義塾大学), 岸本卓巳 (岡山労災病院), 岸 玲子 (北海道大学), 森永謙二 (独立行政法人労働安全衛生総合研究所)

### 議事

1. 委員長, 副委員長選任⇒委員長相澤好治, 副委員長矢野栄二
2. 事務局長選任⇒広瀬俊雄, 事務局⇒仙台錦町診療所・産業医学センター  
事務局員⇒仙台錦町診療所・産業医学センター脇本秀紀事務局長
3. 学会声明とアンケート結果  
1970年から本年迄約300件の発表者のうち最新名簿に載っている方約100名に郵便で配布, 戻り除き81名(委員含む)となる中17名(委員除く)から回答が届いた。資料として配布し, 委員会活動の審議の参考にした。
4. 委員会の方向性, 最終目標  
委員会の任務については、「学会見解を充実させる」「時々ステートメントを発表する」「実践活動に(も)取り組む」「石綿と対策に関する実態把握を行う」等が出されたが, まずは、「学会見解の中の5. 石綿障害対策への提案」の具体化を図ることから始めることにした。
  - 1) 「行政への提案」に関して, 甲田委員が担当する。
  - 2) 「学会活動(1) 石綿関連疾患の胸部エックス線写真集の整備」に関しては, 広瀬(責任者), 東, 久永, 日下, 岸本委員で担当する。
  - 3) 「学会活動(2) 研修会」に関しては, 来年の大阪での第80回総会での企画を設定する。尚, 委員会審議の時点では「生涯教育委員会との共催」としようとの意見も出されたが, その後の検討で, 本委員会が担当して行う方向で車谷委員が圓藤吟史企画運営委員長と折

衝することになった。

- 4) 「学会活動(3) 石綿関連疾患症例の情報収集」に関しては, 職業性呼吸器疾患研究会に検討を委託することにした(担当: 相澤世話人代表他, 日下, 東, 久永, 広瀬世話人)。
- 5) 「学会活動(5) 国際労働衛生への貢献」では, 日下委員が既実践している「Air Pneumo」を中心に久永委員, 東委員からも情報を出して貰い検討を進める。
- 6) 矢野委員からの提起である「リスクマネジメントとリスクコミュニケーションの検討(石綿がもたらした利益と害についての具体的かつ量的評価, 代替策などの技術的發展などの時代的背景の中での検討)」に関して, 神山委員の指摘である「経済力による制約」と合わせて今後議論を深めることとした(担当矢野・神山委員)。
5. 次回開催予定等(旅費・宿泊料金等)
  - 1) 委員会助成金は30万であるのに対し(後に初年度は80万に増額されている)委員旅費の1回の合計は26万。よって旅費は半額とする。宿泊は全額。事務局員を参加させる。
  - 2) 石綿関連胸部疾患画像診断教材作成委員会を12月15日19時から21時迄開催を決めた。

## 第2回石綿問題検討委員会議事録

日 時：2006年12月16日(土) 9時～11時半

場 所：(財)労働衛生会館

出席者 (アイウエオ順, 以下敬称略) 相澤好治, 大前和幸, 岸玲子, 岸本卓巳, 日下幸則, 車谷典男, 甲田茂樹, 神山宣彦, 東 敏昭, 久永直見, 広瀬俊雄, 脇本秀紀(事務局)

欠席者 (同) 森永謙二, 矢野栄二

### 議事

1. 委員会の課題の具体化  
前回確認された委員会の任務に基づき, 各課題の具体化について検討した。
  - 1) 「行政への提案」に関して, 現状と検討課題について甲田委員が準備する。  
⇒国土交通省委員会, NEDO等の情報を甲田委員に集中することとした。
  - 2) 岸委員を学術会議担当として情報収集, 検討して貰うこととした。
  - 3) 「学会活動(1) 石綿関連疾患研修用教材作成委員会」  
⇒広瀬(責任者), 東, 久永, 日下, 岸本委員で検討する。既に発行・公開されている画像教材を紹介しつつ, 基本的な事柄に関する解説を収録していく方向。
  - 4) 「学会活動(2) 研修会」⇒「石綿関連疾患実践講座—職歴評価から労災補償まで—」を主催: 日本産業衛生学会(第80回企画運営委員会), 企画担当: 石綿問題検討委員会として, 座長(車谷, 広瀬), 2007年4月

25日(水) 13時30分～15時30分 会議室1202 にて  
行う。講師担当は以下とする。

①曝露に関する問診法・評価の仕方(久永)

②画像診断について(日下)

③石綿関連疾患の労災補償の取り扱い方(岸本)

- 5)「学会活動(3)石綿関連疾患症例の情報収集」⇒4月の総会時自由集会では、職業災害学会、呼吸器学会にも呼びかける。それとは別に委員会としても関連学会に「協力・共同」を呼びかけていく。
- 6)「学会活動(5)国際労働衛生への貢献」⇒日下委員が既実践している「Air Pneumo」を中心に久永委員、東委員からも情報を出して貰い検討を進める。第2回委員会では、各委員から多く情報が出され認識を深めた。
- 7)「リスクマネジメントとリスクコミュニケーションの検討(石綿がもたらした利益と害についての具体的かつ量的評価、代替策などの技術的發展などの時代的背景の中での検討)」について、神山委員より、矢野委員に代わって説明を受けた。「矢野委員まとめ」は、「提案」が2003年なので、「現在」版を出して貰い第3回委員会で議論することとした。
- 8)「学会としてのもっと疫学調査の提案を」の意見が多く出された。これまで「108条注※」の発動は無いが、この事例では是非「発動」されるべきであり、第3者機関として日本産業衛生学会が受けていくべき。甲田委員、車谷委員で次回委員会に提案。

#### ※注

労働安全衛生法第百八条の二「厚生労働大臣は、労働者がさらされる化学物質等又は労働者の従事する作業と労働者の疾病との相関関係を把握するため必要があると認めるときは、疫学的調査その他の調査を行うことができる。」「2厚生労働大臣は、疫学的調査等の実施に関する事務の全部又は一部を、疫学的調査等について専門的知識を有する者に委託することができる。」

9) 実務事項(略)

#### 2. 次回開催予定

2007年2月16日(金) 18時から21時 於 八重洲倶楽部  
第11会議室

### 平成18年度新入会者

[愛知] 深谷幸生 [京都] 駒居貴子 [和歌山] 菊岡弘芳 [福岡]  
清原 裕, 隈本正一郎 [佐賀] 大蔭裕佳 [熊本] 加藤忠彦

### 平成19年度新入会者

[北海道] 荒田吉彦, 和泉比佐子, 小山和子, 須賀俊博, 高橋  
恭子, 成田智美, 蓮池清美, 比留間久美, 本田明美 [青森] 菅  
原典夫 [岩手] 鈴木孝志, 藤井ヌイ子 [宮城] 高橋公子, 新妻  
宏文 [山形] 大坂香織 [福島] 坪井 聡, 本多 融 [茨城] 梅  
田忠敬, 小山雄三, 高橋秀人, 中川 徹, 長畔誠司, 中島大介,

増山久仁子, 望月昭英 [栃木] 関口節子 [群馬] 岡本ミチ子,  
須郷真奈美 [埼玉] 笠原直子, 杉山弥生, 古市知広, 南 純子,  
村田奈緒美, 渡部てつ子 [千葉] 齊藤絵美, 齊藤順之, 富田哲  
治, 橋本照代, 波多野俊之 [東京] 相坂修一, 赤羽 泉, 生山  
匡, 石井裕正, 石上 愛, 石倉恭子, 井田浩正, 井上津奈, 岩  
川美紀, 岩脇俊憲, 内田俊彦, 内山綾子, 遠藤裕一, 大沢伸孝,  
大竹彩恵子, 奥 真也, 折居恵子, 笠原抄織, 金澤紀子, 狩野  
智美, 河田淳子, 河原奈津子, 神田豊和, 菊田ひとみ, 木村友  
子, 楠木千春, 小林三世治, 小山圭子, 小山博史, 佐々木智江,  
里中奈央, 柴田恵子, 鈴木純子, 鈴木洋子, 砂田健一, 高橋為  
生, 高橋正名, 高原しおん, 武井規子, 武井陽子, 武田富士美,  
竹中春美, 田中ゆかり, 坪下ひろみ, 局千恵子, 十束美チ子,  
中西貞茂, 中林正雄, 中村康宏, 成田幹子, 西平哲郎, 西山信  
一郎, 沼田瑞枝, 野尻紀代美, 橋口千香子, 畑 春実, 早坂朋  
恵, 林 弘子, 平岩亜紀, 平河久美子, 廣田富美恵, 福島知代  
子, 福田淳子, 福田宏道, 福田美代子, 福地雅子, 藤井正實,  
藤田麻美, 藤目 真, 藤本恵子, 藤原美佐子, 札辻麻起子, 古  
井祐司, 星原芳雄, 堀 三郎, 前里ゆかり, 松井朝子, 松下由  
実, 松村美和子, 松谷司郎, 丸山泰子, 満武巨裕, 森泉亜弓,  
森田 健, 矢崎直仁, 山口 綾, 山口美紀, 山口利恵, 渡辺淳  
子, 渡辺浩美 [神奈川] 浅倉眞澄, 福川健太郎, 江郷洋一, 荻  
部千恵, 窪田 誠, 古賀由美子, 坂本智子, 澤田友子, 関口  
梓, 田代朋子, 玉川葉子, 長谷川紀子, 平山佳子, 松尾玲奈,  
松本由紀, 山崎晶子, 山田千穂, 横山菊代 [富山] 永井真弓  
[石川] 溪 智恵, 長井麻希江, 広田美代, 堀真由美 [山梨]  
亀井信恵 [岐阜] 安田博之 [静岡] 石塚泰世, 近藤好子, 佐野  
雪子, 武井教使, 土屋賢治 [愛知] 安藤元美, 今井亮太, 王  
棟, 小笠原浩美, 荻野久美子, 長田成幸, 金山亜希, 木村美香  
子, 久野淳也, 小島 恵, 近藤隆久, 齊藤 勲, 関口由美子,  
田中みき, 戸田崇之, 中嶋寿美子, 中村賀代子, 中村美詠子,  
宮崎 豊, 山口由美子, 山ノ下理 [三重] 岡本まや, 高村光幸  
[滋賀] 奥出祐子, 佐々木哲, 園伊知郎, 藤野みつ子, 森田  
潤, 八木彰子 [京都] 安里 望, 大鳥秀武, 春田哲郎, 森山賢  
治 [大阪] 相場まり子, 新井邦彦, 石原敬康, 稲垣千穂, 井上  
理恵, 今井龍也, 上野美智代, 宇山 徹, 岡崎真紀, 梶谷朋代,  
角谷 学, 金井裕子, 木岡あゆみ, 木下雅美, 木本佳世, 坂田  
泰彦, 重田淳吾, 枚本朋子, 竹内 裕, 寺原京子, 長久保郁,  
橋本香織, 長谷川健, 藤井由希, 細谷詩子, 浦水郁子, 水野智  
寛, 森岡亜也子, 安本 文, 八幡千嘉子, 山鳥大材, 依藤千佳,  
和田育子 [兵庫] 石川雄一, 大西一男, 瓦家正志, 栄健一郎,  
中野裕美, 藤家恵子 [奈良] 矢野美智代 [和歌山] 石丸邦仁,  
松山健次, 向林知津, 牟礼佳苗, 湯川修也, 渡邊実香 [岡山]  
岡本美智子, 辻 博明, 長濱宣江, 林 亨子, 林 宏明, 古米  
容子, 森岡真美 [広島] 澤山智之 [香川] 阿部康一, 真鍋良二  
[愛媛] 竹崎雅之 [福岡] 秋山史雄, 五十嵐友紀, 伊東大輔,  
江口ひろみ, 小川みどり, 草野 緑, 嵯峨 堅, 鹿屋洋子, 高  
崎里香, 瀧口純司, 多田隈潔, 松本哲明, 三島慶子, 柳 延亮,  
山木宏一, 山下 潤, 横川智子 [佐賀] 國部恵子, 中川美知子,  
吉野優子 [熊本] 夷 慶軍, 魏 長年 [大分] 太田牧子, 福田  
広美 [宮崎] 落合智子, 山路 健 [鹿児島] 松下 寛 [沖縄]  
仲本晴男